

病虫害防除基準・農薬適正使用指針の利用について

病虫害防除基準・農薬適正使用指針（以下「防除指針」という）では、掲載農薬一覧を作成しており、農薬名、RACコード、有効成分名、本剤の使用回数、当該成分を含む農薬の総使用回数及び適用病虫害名を掲載しています。太い枠線は作用機構分類が同じグループであることを示しています。

農薬の使用回数については、有効成分ごとの農薬総使用回数を遵守することが義務づけられていますので、同じ有効成分を含む農薬を使用する場合は注意してください。また、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、RACコードの数字が同じ農薬については、連用しないように心掛けてください。

防除指針に掲載されている農薬は、令和6年12月末時点の登録内容で編集を行っています。

発行後、登録内容が変更されることがあるため、農林水産省「農薬登録情報提供システム」 z

(<https://pesticide.maff.go.jp/>) など最新登録内容を改めて確認してください。

防除指針の掲載にあたっては細心の注意を払っておりますが、発行後、万一誤記載、訂正があった場合は山梨県病虫害防除所のホームページに正誤表を掲載させていただきます。

記載例

も も 病 害 防 除 農 薬 一 覧

農 薬 名	RAC コード	有 効 成分名	本剤の 使 用 回 数	当該成分を 含む農薬の 総使用回数	適 用 病 害 名									
					縮 葉 病	黒 星 病	う ど ん こ 病	灰 星 病	ホ モ ブ シ ス 腐 敗 病	せん 孔 細 菌 病	胴 枯 病	炭 疽 病	白 紋 羽 病	根 頭 がん し ゆ 病
トップジンM水和剤	1	チオファネートメチル	6 (苗木) 1	10※1 (苗木) 7 (散布6回以内)		○	○	○	○					
フルーツセイバー	7	ペンチオピラド	3	3		○	○	○						
パレード15フロアブル	7	ブラジフルミド	2	2		○	○	○						
ナリアWDG	7 11	ピラクロストロビン ボスカリド	2	2		○	○	○	○			○		
アミスター10フロアブル	11	アゾキシストロビン	3	3		○		○	○			○		
ファンタジスタ顆粒水和剤	11	ピリベンカルブ	3	3										
フロンサイドSC	29	フルアジナム	1	2※2									○	
アグレプト液剤	25	ストレプトマイシン硫酸塩	2	2						○				
アグレプト水和剤	25	ストレプトマイシン硫酸塩	2	2						○				
マイコシールド	41	オキシテトラサイクリン	5	5						○				
フジワン粒剤	6	イソプロチオラン	1	1									○	
トリフミン水和剤	3	トリフルミゾール	3	3		○	○	○						

有効成分ごとの
総使用回数に注意

＜防除方法の表示＞

防除方法については、対象病害虫ごとに防除時期、使用できる農薬名、希釈倍数、使用時期及び本剤の使用回数等を掲載しています。

- 1 「防除時期及び防除法」の希釈倍数（使用量）は、環境保全型の病害虫防除を推進するため、原則として登録範囲内の最低濃度（最少量）を記載していますが、防除効果に差が認められる場合は異なる場合があります。
- 2 「使用時期」は使用できる時期及び収穫前日数（収穫する日から遡って使用できる日数）を記載しています。「前」は収穫前日（収穫開始の24時間より前）を表し、「－」は設定がないことを表します。
- 3 「本剤の使用回数」は当該農薬が栽培期間中（土壌消毒などの準備期間を含む）に使用できる使用回数です。果樹や茶などの永年作物においては、前回の収穫（摘採）終了から当該収穫（摘採）終了までの期間における回数となります。
- 4 同一名の農薬でも発売元によって農薬の登録内容（希釈倍数、適用病害虫等）が異なる場合があるため、使用前にラベルを確認してください。

記載例

もも

病害虫名	防除時期及び防除法	使用時期-本剤の使用回数	注意事項
縮葉病	○発芽前(12月～2月上旬) 石灰硫黄合剤 7倍 チオノックフロアブル 500倍 トレノックスフロアブル 30倍 ICボルドー412 キンセツ水和剤80 1,000倍	発芽前－ 7－5 －－ 収穫後～開花直前 (収穫60日前)－5	1 天候の安定した時期に風の強い日を選んで枝先までていねいに散布する。 2 住宅地の隣接園では、石灰硫黄合剤の使用を避ける。
黒星病	○5月上旬～6月中旬 インダーフロアブル 5,000倍 オンリーワンフロアブル 2,000倍 ベルクート水和剤 2,000倍 ベルクートフロアブル 1,000倍 アミスター10フロアブル 1,000倍 ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍 フルーツセイバー 1,500倍 パレード15フロアブル 2,000倍 イオウフロアブル 500倍	前－4 前－3 前－3 前－3 前－3 前－3 前－3 前－2 －－	1 同一系統の薬剤の連用は避ける。 2 ベルクートフロアブルは、おうとうに着色障害を生じるおそれがあるので、隣接園では飛散に注意する。 3 イオウフロアブルは、日中の高温時は散布を避ける。また「ゆうぞら」には薬害が生じるので使用しない。
うどんこ病	○落花期～5月上中旬 1 発病果は取り除く。 2 薬剤散布 トリフミン水和剤 2,000倍 オンリーワンフロアブル 2,000倍 ベルクート水和剤 2,000倍 ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍 フルーツセイバー 1,500倍 パレード15フロアブル 2,000倍	前－3 前－3 前－3 前－3 前－3 前－2	同一系統の薬剤の連用は避ける。